



競技注意事項

1 競技規則について

本競技会に適用する規則は、2025 年 公益財団法人 日本陸上競技連盟競技規則及び本競技会申し合わせ事項である。

2022 年 1 月 1 日の WA の競技規則 TR5 の改正と新たに「競技用靴に関する規程」が導入されたことに基づき、靴底の厚さのチェックは実施しない。ただし、審判長および競技役員はいつでもシューズチェックをすることができ、競技者はその指示に従わなければならない。明らかに規則・規程違反のシューズや疑わしいシューズは、チェックや回収の対象になることがある。競技後にシューズの違反が認められた場合は、審判長が「失格」と判断し、記録が取り消される場合がある。

※競技用靴・靴底厚さ表

種目	靴底最大の厚さ	要件備考
トラック種目 ハードル種目 障害物競争	20mm スパイクシューズ または ノン・スパイクシューズ	リレーにおいては、各走者が走る距離に応じて適用する。 競技場内で行う競歩競技の靴底の最大の厚さは道路競技と同じとする。
フィールド種目	20mm スパイクシューズ または ノン・スパイクシューズ	全跳躍種目で、靴の前の部分の中心点の靴底の厚さは、踵の中心点の靴底の厚さを超えてはならない。(前足の中心は、靴の内部の 75%にある靴の中心点。踵の中心は、靴の内部の長さの 12%にある靴の中心点)

2 練習について

(1) 練習の時間帯は、下記の通り。

	本競技場
10月12日(日)・13日(月祝)	開門 ~ 9:40

※本競技場では、競技会運営の準備も並行しておこなうので、安全に十分注意すること

※競技場外で体を動かす際には、公共の場所であることを踏まえ、十分に安全に考慮すること

(2) 本競技場での練習は、トラック・跳躍種目とする。また、用具については、競技場備え付けの物を使用すること。ゴムチューブ等を使用してのスピード練習は全面禁止とする。

(3) トラックのレーンの使用については、以下の通り。

1・2レーン：中長距離・競歩 3～6レーン：短距離(リレー練習含む)
7・8レーン：400mHの練習 8・9レーン：ハードル

(4) 本競技場のフィールド内芝生は、全面立入禁止とする。

(5) 投てき練習(メディスンボール練習等も含む)は、公式練習以外、競技場内外を問わず一切禁止する。

(6) 練習会場での練習は、事前に注意事項を確認し遵守するとともに、必ず競技役員の指示に従うこと。

3 招集について

(1) 招集所は、メインスタンド下雨天走路に設ける。

(2) 各種目の招集開始時刻・完了時刻は、プログラムの競技日程欄に記載されている。

(3) スマートフォン等の電子通信機器は、招集所内・競技エリア内に持ち込まないこと。

(4) 招集の手順

① 競技者は、招集開始時刻までに招集所で待機し、競技者係の点呼を受ける。その際、アスリートビブス、競技で使用するシューズの確認を受ける。

② トラック種目は、競技者係の点呼を受け、オープンレーン種目については同時に腰ナンバーを受け取り、右腰のやや後方につけること。競歩種目は、別ビブスも受け取ること。

③ 代理人による招集の点呼は認めない。ただし、同日に2種目以上にわたって同時刻に出場する競技者は、第1種目の招集開始時刻までに、本人が所定の「多種目同時出場届」(用紙は招集所に準備)を競技者係へ提出し、併せて招集を受けることができない種目の点呼(アスリートビブス、競技で使用するシューズの確認)を受けておくこと。その場合に限り、招集時刻の点呼に代理人を認める。

④ 招集完了時刻に遅れた競技者は、出場する意思がないものとみなし処理する。

(5) やむなく欠場する場合は、招集開始時刻までに「欠場届」を招集所へ提出すること。用紙は、所定の用紙を使用すること。(用紙は招集所に準備)

(6) リレー種目について

① 「オーダー用紙」は、各種目の第1組目の招集完了時刻の1時間前までに招集所へ提出すること。所定



2025 年度 奈良県秋季競技会

の用紙に、必要事項を記入のうえ提出し、「控え」を受けとること。「オーダー用紙」の提出がない場合は、当該種目を欠場するものとみなし、処理する。(用紙は招集所に準備)

② 出場メンバー全員が点呼を受けること。ただし、他種目に出場している場合は、上記(4)③に準ずる。

※ユニフォームは同型・同色を原則とする

③ リレーに用いるマーカーは、出場チームで準備し、使用後は各チームで責任を持って取り除くこと。

(7) 混成種目について

① 第1日及び第2日の最初の種目については、招集所にて指定された時刻に行う。2種目以降の招集は、トラック種目は10分前、フィールド種目は20分前までには現地に集合すること。

② 他種目と重なっている場合は、あらかじめ混成競技係にその旨を告げ、競技者係に「多種目同時出場届」を提出しておけば、直接現地への移動を認める。(トラック種目優先)

4 競技進行について

(1) 当該種目出場の競技者以外は、競技場内に立ち入ることはできない。

(2) 競技用靴のスパイクの長さは、9mm以下とする。ただし、走高跳・やり投は12mm以下とする。いずれの場合も本数は、11本以内とする

(3) アスリートビブスは、配布された大きさのまま、ユニフォームの胸部と背部つけること。ただし、跳躍競技に出場する競技者は、背部または胸部だけでもよい。

(4) 不正スタートについては、混成競技を除いて、一度の不正スタートでもその責任を有する競技者は失格とする。混成競技においては、各レースでの不正スタートは1回のみとし、その後不正スタートした競技者はすべて失格とする。(競技規則162条6、第200条8、国内ルールを適用)

(5) トラック競技の短距離種目では、競技者の安全確保のため、フィニッシュライン通過後も自分に割り当てられたレーン(曲走路)を走ること。

(5) フィールド競技に出場している競技者が、それ以前の試技の映像等の録画再生機器等を手渡しによる競技エリアでの視聴は可能とする。ただし、危険防止の観点から、メインスタンドからの受け渡しは禁止する。

5 競技用具について

(1) 棒高跳用ポール・やり以外の競技用具は、競技場備え付けのものを使用する。

(2) やりは競技場備え付けのものを準備するが、検査を受けて自己の物を使用してもよい。ただし、検査に合格した用具は一括借り上げとし、参加競技者で共有できるものとする。検査時刻は、競技開始時刻の80分前から60分前までとし、南用器具庫(100mスタート地点横)で行う。競技中に破損が生じても主催者は一切の責任を負わない。

(3) フィールド競技で、助走路に使用できるマーカーは主催者が用意したものを2個まで、サークルからの投てき種目では1個置くことができる。個人の所有物は使用できない。走高跳の競技者は、各自でマーカー(粘着テープ、2箇所まで)を用意し使用してもよい。

6 個人情報の取り扱いについて

(1) 主催者は、個人情報の保護に関する法律及び関連法令等を遵守し、個人情報を取り扱う。また、取得した個人情報、大会の資格審査、プログラム編成及び作成、記録発表、公式ホームページその他競技運営及び陸上競技に必要な連絡等に利用する。

(2) 大会の映像・写真・記事・記録等は、主催者及び主催者が承認した第三者が大会運営及び宣伝等の目的で、大会プログラム、新聞・雑誌・インターネット等の媒体に掲載することがある。

7 一般的注意事項

(1) 競技場の開門は、2日間とも8時30分とする。

(2) 記録等は、場内アナウンス及び公式ホームページ上で公開する。

(3) 競技者の入退場は競技場の各ゲートから行き、みだりに競技場内(本部席前)の横断や通過はしないこと。

(4) 応援はスタンドで行い、集団での発声や連呼応援は禁止する。

(5) 更衣室の使用は、更衣のみとし、私語はせず、使用後は速やかに退室すること。また、一切の私物を置いてはならない。その際、正面玄関からの出入りは禁止する。

(6) 競技中に起こった疾病・傷害については、本部の医務室で応急処置は行うが、以後の責任は一切負わない。

(7) スタンド等使用した場所は、各チーム・各校で責任を持って清掃し、ゴミは各自で持ち帰ること。また、駅・競技場周辺のごみ箱等には絶対放置しないこと。(競技場周辺にごみ箱はありません)

(8) 貴重品・荷物等は各自で管理し、盗難等に十分注意すること。